

笠縫小学校

## 令和5年度 我が校の学ぶ力向上策

**【市町 目標】**  
 ○令和5年度草津市教育の重点である「スクールESDくさつ」「New草津型アクティブ・ラーニング」「配慮を要する子どもへの支援」を推進することにより、「子どもの学ぶ力」を育成するとともに、「魅力のある学校」をつくる。

**【学校 目標】**  
 ○明日も行きたい学校 会いたい友だち・先生 心待ちの授業

**【現状と課題】**  
 ○視点1 「自分の解き方や考えを話したり、書いたりしている」児童が増えてきた。  
 ・「算数がすき」な児童が減少したことから、基礎基本の学びや個に応じた支援を充実させる必要がある。  
 ○視点2 課題にまじめに取り組める児童が多い。  
 ・自分の考えを積極的に発表したり交流したりして、考えを深めようとする姿に弱さがある。  
 ○視点3 計画的・継続的な校内研修の実施や、互いの学級経営や授業から学び合える環境づくりが求められている。  
 ・書く活動について全校共通で取り組むことで、自分の思いや考えを表現しようとする態度が育ちつつある。

### 取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○校内研究『『できた！見つけた！』を積み重ね『算数がすき』と言える子どもを育む。』を通して、どの子も算数のよさに気づけるような授業をめざす。	・学びのアンケート「算数の学習は好きですか」の強い肯定率40%以上		
	・学びのアンケート「授業の学習内容はわかりますか」の肯定率70%以上		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○総合的な学習の時間において、課題を発見し、課題の解決に向けて考えたことを地域や身の回りの人に発信する授業を設定する。 ○特別活動(学級会、代表委員会)の充実を図り、児童の自己決定の場をつくらせたり、共感的人間関係を育成したりする。	・学びのアンケート「授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたいと思いますか」の強い肯定率50%以上		
	・「明日も行きたい学校」を創るための代表委員会の実施回数 1回目:4回以上 2回目:9回以上		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○校内のOJT研修を計画的に進め、キャリアステージに応じた人材育成を図る。 ○朝学習の時間に「書きタイム」を設定したり、学習習慣を保護者とともに育てる「家庭学習チャレンジ週間」を設定したりする。	・テーマを設けたOJT研修を年間予定に位置づけて実施した回数 1回目:5回以上 2回目:10回以上		
	・各教科の授業を自由に参観する「ちょこっと参観」を実施した回数 1回目:4回以上 2回目:8回以上		
	・「書きタイム」に計画通りに取り組んだ職員の割合 80%以上		
	・家庭学習チャレンジ週間中に、2日以上、学校の宿題以外に自主的な学習に取り組んだ児童の割合 60%以上		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。  
 ・4・5月の職員会議や校内研究会等において、学ぶ力向上推進リーダーが「学ぶ力向上策」について説明するとともに、それぞれの取組事項に対する具体的な内容について共有する。  
 ・全員で取り組む具体的な内容について共通理解し、視点1については研究主任、視点2については特別活動及び総合的な学習の時間の主任、視点3については教務主任が中心となって、組織的に実践につなげる。

今年度の取組の成果と課題

